

## 2026年度事業計画

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

### 1. 第33回地域保健福祉研究助成

第20回シニアボランティア活動助成

第35回ビジネスパーソンボランティア活動助成

(定款第4条第1号並びに第2号に該当)

#### 【受贈者の決定と贈呈式の開催】

公募申込の中から選考委員会で選定のうえ、理事会にて受贈者・助成金額を決定し、贈呈式を開催する。

#### (日 程)

- ・公募期間 3月25日(水)～5月18日(月)〔当日消印有効〕
- ・選考委員会の開催 7月21日(火)
- ・理事会の開催 選考決定
- ・贈呈式の開催 9月10日(木) 近畿地区贈呈式  
9月30日(水) 関東地区贈呈式  
9～10月 近畿・関東地区以外は原則として  
各道県にて開催

#### (選考委員) (五十音順) (敬称略)

- 川崎 良 (大阪大学大学院医学系研究科 教授)
- 河野 公一 (大阪医科薬科大学 名誉教授)
- 齊藤 ゆか (神奈川大学人間科学部 教授)
- 筒井 のり子 (龍谷大学社会学部 教授)
- 早瀬 昇 (社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長)
- 福島 若葉 (大阪公立大学大学院医学研究科 教授)
- 藤井 博志 (関西学院大学人間福祉学部 教授)

#### 【事業内容】

##### (1) 地域保健福祉研究助成

###### ① 応募資格

- ・保健所、地方衛生研究所等衛生関係機関に所属する職員
  - ・都道府縣市町村の衛生および福祉関係職員
  - ・保健・医療・福祉の実務従事者  
大学病院の職員等は応募対象者に含む。(ただし、大学の教職員、大学院生の研究は除く。)
- \*ただし、前年度に当財団の助成を受けた人は除く。

###### ② 研究課題

- ・地域保健および地域福祉に関する研究
- ・在宅・施設の医療、福祉および介護に関する研究
- ・その他住民の健康増進に役立つ研究

- ③助成金額（総額 原則1,100万円以内）  
1件 原則36万円  
特に優秀な研究については50万円限度で助成

(2) シニアボランティア活動助成

- ①応募資格  
社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア（年齢満60歳以上）が80%以上のグループ。  
\*ただし、過去3年以内に当財団の助成を受けたグループは除く。

- ②対象となる活動
- ・高齢者福祉に関するボランティア活動
  - ・障がい者福祉に関するボランティア活動
  - ・こどもの健全な心を育てるための交流ボランティア活動

- ③助成金額（総額 ビジネスパーソンボランティア活動助成と合わせて原則1,300万円以内）  
1件 原則12万円  
特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

(3) ビジネスパーソンボランティア活動助成

- ①応募資格  
社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするビジネスパーソン（会社員、団体職員、公務員、経営者・個人事業主）が80%以上のグループ。  
\*ただし、過去3年以内に当財団の助成を受けたグループは除く。

- ②対象となる活動  
シニアボランティア活動助成と同じ

- ③助成金額（総額 シニアボランティア活動助成と合わせて原則1,300万円以内）  
シニアボランティア活動助成と同じ

(4) 2025年度研究・活動報告

2025年度「地域保健福祉研究助成」、「シニアボランティア活動助成」および「ビジネスパーソンボランティア活動助成」受贈者の研究・活動報告を確認し、「研究報告」は財団ホームページに掲載する。

2. 健康小冊子の発行

(定款第4条第4号に該当)

健康小冊子【No.78】を発行する。

タイトル：女性の健康（仮称）

著者：上田 豊 氏（和歌山県立医科大学 医学部 先進予防・健康医学講座 教授）

### 3. 福祉事業への助成

(定款第4条第5号に該当)

以下の福祉事業に対し助成する。

- ・ 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業（20万円）
  - 地域こどもつなぐ応援金（2025年新設）  
様々な困難がありながら地域で暮らす子供の高校就学を支援する給付型奨学金に助成

以上